

ガガわ しま



議会だより

3月定例会

No.96

平成24年5月25日

3月定例会審議結果
委員会の動き

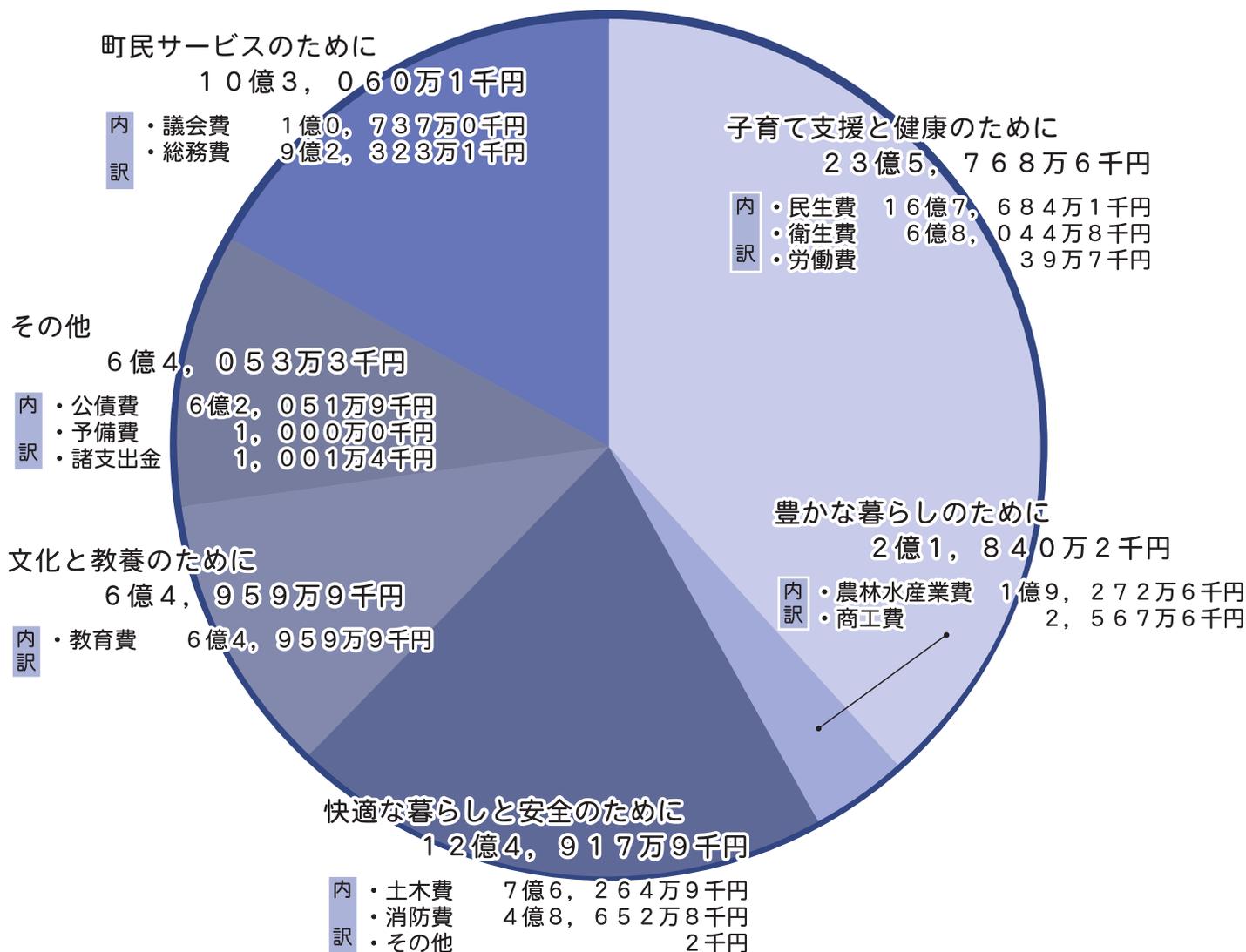
一般質問 町の考えを問う



安心して暮らせる住みよい町へ

平成 24 年度

一般会計予算 61 億 4,600 万円



用語の解説

歳出

- | | | | |
|----------------|--------------------------------------|------------|--|
| 議会費 | 議員報酬などに係る経費。 | 土木費 | 道路や河川、橋、公園などの整備や維持管理に係る経費。 |
| 総務費 | 町の全般的な事務経費。財産管理や税金、選挙、統計、住民票などに係る経費。 | 消防費 | 主に川越地区消防組合負担金。 |
| 民生費 | 社会福祉や障がい者、高齢者、児童福祉などに係る経費。 | 教育費 | 小・中学校、幼稚園に関する経費、文化事業やスポーツ振興、生涯学習、公民館、図書館などに係る経費。 |
| 衛生費 | 予防接種や各種健診や、環境衛生、ごみやし尿処理などに係る経費。 | 公債費 | 地方公共団体が借入れた地方債の元利償還金や一時借入金利息。 |
| 農林水産事業費 | 農業・園芸畜産の振興などに係る経費。 | | |

平成24年度 特別会計予算

特別会計予算名	予算額	前年との比較	備 考
国民健康保険	25億2,653万3千円	1億5,967万7千円	保険給付費の増加等
学校給食費	8,690万0千円	▲90万0千円	児童生徒数の減少等
下水道事業	6億9,800万0千円	▲3,600万0千円	工事費の減少等
介護保険	13億4,500万0千円	▲1,300万0千円	介護給付費伸び率の減少等
後期高齢者	1億5,800万5千円	1,339万9千円	後期高齢者医療広域連合納付金の増加等
合 計	48億1,443万8千円	1億2,317万6千円	—————

平成24年度 水道事業会計予算

	予算額	前年との比較	備 考
収益的収入	4億8,731万3千円	775万2千円	給水収益の増加等
収益的支出	5億1,776万3千円	1,631万2千円	配水及び給水費の増加等
資本的収入	6,820万4千円	2,430万0千円	国庫補助金の増加等
資本的支出	1億6,708万5千円	1,495万5千円	建設改良費の増加等

平成24年 3月定例会議案審議結果

議案番号	議 案 名 議 案 内 容	採決結果
議案第3号	川島町表彰条例の一部を改正する条例を定めることについて 功労表彰及び善行表彰の基準を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第4号	川島町印鑑条例の一部を改正する条例を定めることについて 住民サービスの向上及び証明書自動交付機の利用促進を図るため条例を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第5号	川島町暴力団排除条例を定めることについて 埼玉県暴力団排除条例が施行されたことに伴い、町においても新たに条例を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第6号	非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めること について スポーツ基本法が施行されたことに伴い非常勤の特別職の名称を変更するものです。	全員賛成 原案可決
議案第7号	川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を定めること について 埼玉県人事委員会からの勧告を踏まえ、一般職員の給与を改定するものです。	全員賛成 原案可決
議案第8号	川島町税条例の一部を改正する条例を定めることについて 経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための地方税法及び地方法人特別税等に関する 暫定措置法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第9号	川島町事務手数料徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて 町民カードの再交付に係る手数料を定めるものです。	全員賛成 原案可決

議案番号	議 案 名 議 案 内 容	採決結果
議案第10号	川島町公民館設置及び管理条例及び川島町立図書館設置条例の一部を改正する条例を定めることについて 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が施行されることに伴い改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第11号	川島町民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて 川島町民会館の管理運営方法を変更することに伴い、条例を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第12号	川島町スポーツ振興条例等の一部を改正する条例を定めることについて スポーツ基本法が施行されたことに伴い改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第13号	川島町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて 第5期介護保険事業計画の策定にあたり介護保険料を改定するものです。	賛成多数 原案可決
議案第14号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について 住民基本台帳法の一部改正に伴い変更するものです。	賛成多数 原案可決
議案第15号	平成23年度川島町一般会計補正予算（第5号） 3268万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を65億5115万8千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第16号	平成23年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 2019万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額を24億4771万3千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第17号	平成23年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第3号） 1億3590万円を減額し、歳入歳出予算の総額を6億251万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第18号	平成23年度川島町介護保険特別会計補正予算（第2号） 4678万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を13億2507万7千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第19号	平成23年度川島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 45万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億4506万1千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第20号	平成23年度川島町水道事業会計補正予算（第3号） 建設改良事業費に8万6千円を追加し3224万4千円とし、収益的支出を37万5千円追加し、5億56万円、資本的支出を8万6千円追加し、1億1558万1千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第21号	平成24年度川島町一般会計予算 歳入歳出の総額を61億4600万円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第22号	平成24年度川島町国民健康保険特別会計予算 歳入歳出の総額を25億2653万3千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第23号	平成24年度川島町学校給食費特別会計予算 歳入歳出の総額を8690万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第24号	平成24年度川島町下水道事業特別会計予算 歳入歳出の総額を6億9800万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第25号	平成24年度川島町介護保険特別会計予算 歳入歳出の総額を13億4500万円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第26号	平成24年度川島町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出の総額を1億5800万5千円とするものです。	賛成多数 原案可決
議案第27号	平成24年度川島町水道事業会計予算 収益的収入を4億8731万3千円、収益的支出を5億1776万3千円、資本的収入を6820万4千円、資本的支出を1億6708万5千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第28号	町道路線の廃止について（町道5692号線外4路線） 荒川太郎衛門地区自然再生事業に伴い、河畔林の保全・再生計画地内となるためです。	全員賛成 原案可決
議案第29号	町道路線の認定について（町道3552号線） 開発行為の道路の帰属により新たに認定したいものです。	全員賛成 原案可決
議案第30号	川島町老人福祉センター及び川島町デイ・サービスセンターの指定管理者の指定について 川島町老人福祉センター及び川島町デイ・サービスセンターの指定管理者を指定するものです。	全員賛成 原案可決

停電時でも安定給水を

●川島町表彰条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 善行表彰や感謝状等の考えは。

答 第5条では、善行表彰の区分の見直しを行い条例施行規則で新たな表彰基準の細目を設けました。

●川島町暴力団排除条例を定めることについて

問 町内での事件、事案と組織暴力団の構成員並びに事務所の実態は。

答 事務所はありません。不当要求に対する中止要求が東松山警察署管内で1件、との報告がありました。

●川島町民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 直営にする理由は。

答 指定管理者制度のもとの会館の管理・運営は、制度上馴染まないことから町直営で管理するためです。

●平成23年度川島町一般会計補正予算について

問 樋詰橋工事負担はどうなるのか。

答 現在は、桶川市と負担協定を結んでいます。

●平成23年度川島町下水道事業特別会計補正予算について

問 雨水幹線工事が1億2900万円の更正減だが、その理由は。

答 予算要求後の実施設計において、一部を翌年度に施工する計画

にしたことと、入札で落札率が77・6%で落札されたためです。

●平成24年度川島町一般会計予算について

問 農業者戸別補償の申請ができる条件と対象者数は。

答 23年度は、生産調整の達成が条件で369件の申請で352戸の該当です。

問 市街化調整区域内に住宅開発を促進するスケジュールは。

答 協議を県関係機関と進めていきます。条件のクリアが難しいが、基本的には、三保谷、出丸、八ッ保、小見野地区とし、24年度に地区を選定するよう進めています。

問 自警団組織を自主防災組織へ再編成とあるが考えを聞きたい。

答 自主防災組織の育成として、24年度以降考えさせていただきます。

●平成24年度川島町水道事業会計について

問 昨年、計画停電と同時に給水



非常用の発電設備（平沼浄水場）

停止がありました。その後の対応策は。
 非常用の発電設備で吹塚浄水場が28時間、平沼浄水場が10時間の稼働が可能です。この間に燃料補給を行い対応したいと考えています。



復旧工事中の樋詰橋（4月17日開通）

太陽光発電設備、全小中学校に設置



太陽光パネルを小学校に設置

●川島町公民館設置及び管理条例及び川島町立図書館設置条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 公民館運営審議委員の委嘱はどう考えているのか。

答 選出基準にあった方を教育委員会で選出します。

●川島町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 要支援1から要介護5の人は

何人いるのか。

答 要支援1が83人、要支援2が79人、要介護1が92人、2が124人、3が101人、4が116人、5が146人です。

問 第5期の3年間の重点政策は。

答 介護認定者にならないよう、ハッピー体操等の予防事業を推進していきます。

●平成23年度川島町一般会計補正予算（第5号）

問 太陽光発電設備の設置は。

答 国の補助をいただき、平成24年度に予算を繰り越して、伊草小学校、三保谷小学校、出丸小学校、八ッ保小学校に設置します。中学校への設置は今後検討します。

●平成24年度川島町一般会計予算

問 八幡商店会照明等維持管理費は。

答 自治会の街路灯は2本の内1本に係る部分を補助しています。また、商店会については、10万円を限度として補助しています。

問 三保谷、出丸、八ッ保、小見野の子ども達の減少による、教育方針は。

答 平成24年度に設置する（仮称）学校規模適正化研究会において、様々な方面からご意見をいただき方向性を出していきます。

問 公民館の耐震診断は。

答 平成23年度、中山、八ッ保公民館が完了します。現在診断が出ているのは、コミセン、町民体育館、出丸公民館で、平成24年度に伊草、小見野公民館の診断を予定しています。

●平成24年度川島町国民健康保険特別会計予算

問 保健事業で、歳出を減らす努力はしているのか。

答 職員組織として元気健康プロジェクトチームを設立し、医療費削減をテーマに検討しています。

●平成24年度川島町学校給食費特別会計予算

問 民間、広域運営の検討は。

答 センターの運営にはいろいろな選択肢がありますが、いかに安全に給食を提供できるかが一番大切で、その点を踏まえて、今後、研究していきたいと考えます。



24年度耐震診断予定の公民館（伊草）

町の考えを問う

町政一般質問要旨

3月13日、14日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

<p>森田 敏男 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤード（高い鉄壁）対策について ・地域防災計画について 	<p>菊地 敏昭 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化について ・路線バスの停留所の整備について ・圏央道の活用について 	<p>吉田 豊子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算編成について ・男女共同参画について 	<p>土屋 祥吉 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育について 	<p>佐藤 芳男 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的遺産の保全と活用について ・防災計画の見直しについて 	<p>新井 悦子 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育について ・災害対策について ・自転車の交通安全対策について 	<p>栗岩 輝治 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物中間処理施設設置申請の取り下げについて ・住宅リフォーム補助金制度の見直しについて ・放射能汚染の町内測定の強化について 	<p>飯野 徹也 議員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の武道の必修化について ・町の塵芥処理業務について
--	--	--	--	--	--	---	---



問 武道の必修化には
万全の安全対策を
複数の教員による
指導等で対応

答

いっ 野 徹 也

問 教育基本法の改正により、文科省は平成20年新学習指導要領を告示しました。この中で24年度から中学校での武道の必修化が定められましたが、町ではどのような対応を考えているか。①新学習指導要領に対する基本的な考え。②柔道・剣道・相撲のいずれを選択するのか。③懸念されている事故に対する安全対策は、とりわけ柔道での重大事故の多発が報道されているが、いかなる対応を考えているのか。

答 武道を通じて相手を尊重し、日本の伝統的な行動規範を身につけられると考えています。町では柔道を

問 塵芥処理業務について、①平成22年に、川越市との協議を進めるとの報告がありました。②収集運搬業務の積算は、いかにしているか。③ゴミ集積所の管理について、どのように考えているか。また整備費の補助等の考えは。

答 協議はこれまで6回行われ、現状分析・課題の整理を行いました。今後、広域化の意義、施設の維持・建設に対する協議を進めます。収集運搬業務については、24年度から埼玉県清掃行政研究協議会の調査研究報告書を参考に設計積算を行います。集積所については、各自治会に運営費助成金等を活用しての整備をお願いします。



川島町武道館



(株)千葉建設は、1月19日に中間処理施設建設申請を取下げた。



問 産廃建設申請取下げを
ふまえて立地条例を提案
答 現行条例で対応します

栗 岩 輝 治

問 今年1月に(株)千葉建設が中山地区の産業廃棄物中間処理施設の申請を取下げ、事実上建設断念となった。7年間、地元の反対同盟、とねがわ幼稚園、町議会、町の総力をあげての反対運動の成果と思います。

今後を考え、現行の「環境条例」に加え、「立地に関する条例」の作成を提案します。

答 産廃施設の申請取下げは、地域の皆様方の地道な活動と町条例の運用、埼玉県の尽力によるものであり

感謝とお礼を申しあげます。「立地に関する条例」の提案ですが、現行条例には、「事業者は関係住民との間で、環境保全に関する合意」がありますので、立地に関する条例の追加は必要ないと考えています。

問 住宅リフォーム補助金制度の導入以来9年間を経過しました。地元建設業界への需要確保と経済効果を図る上で、①利用回数の増加。②補助率のアップ。③補助金の金額のアップ。これらの制度拡充を望みます。

答 住宅リフォーム補助金については現行制度で対応していきたいと考えています。現在までに162件、申請者の補助対象経費として2億8600万円、町補助金として1057万円を交付しております。

問 学校給食の食材の「放射線測定器」の購入の考えは。

答 流通段階で測定されており、安全性が確保されている結果が出ていますので、現時点で測定器購入は考えていません。

問 学童保育所は、放課後、保護者が帰宅するまでの間、安全で安心な場所を提供する施設です。町は4月より3番目となる学童保育所が創設されますが、障がい児の受け入れは。

答 障がいの程度や事業主体の条件を整えて行うことが必要となり、現状では、難しいと思われます。今後、学童クラブ、保護者、指導員と十分協議しながら検討していきます。

問 災害時における職員の配置計画や避難所、福祉避難所の設置、又、女性や要援護者等の配置がなされていますか。

答 町地域防災計画に規定した職員

問 学童保育所への障がい児の受け入れは
答 学童クラブと検討していきます



あらい のぞみ



川島幼稚園内に新設された学童クラブ

は大規模地震が発生した場合、参集し、情報収集や初動体制活動を行うことになっていきます。一般の避難所では生活に支障をきたす方への配慮が必要ですので健康福祉課とも協議し福祉避難所の指定が出来るよう対応します。災害物資は女性や要援護者に配慮したものを備蓄し、避難所の運営組織も複数の女性を参加することにしていきます。

問 埼玉県では自転車安全利用の促進に関する条例を公布し、4月1日から施行されます。町での自転車安全教育と加害者になった場合の事故に備えた任意保険への加入啓発は。

答 自転車安全教育については、地域指導員や学校指導員を中心に進めていきます。保険については、保護者会等で加入の意義や必要性等を周知してもらおうよう、各学校に働きかけていきたいと考えています。



長楽用水と大囲堤

問 15世紀の記録に残る長楽・中山の2大用水路と、長楽用水に平行する江戸時代に築堤された29キロに及ぶ大囲堤の現存部分は、川島町の農業と、水防の歴史的遺産と考えます。今後の保全と活用は。

答 総合振興計画に沿って、清流の復活と安らぎの空間創造を目指し水辺の再生に取り組みます。

問 長楽用水の水辺再生事業が進んでいますが今後の整備、管理の方針を伺います。

答 親水護岸や遊歩道を整備し、用水機能を保全しつつ水辺空間を整備してまいります。維持管理は、町と地域住民やNPO法人と協力して進めてまいります。今後の整備は、県と連携して継続していきたいと考えています。

問 大囲堤のうち小見野梅ノ木は桜並木となっていますが、他の区域に桜や柳の植栽はできないか。維持管理が大変なのでしょうか。

答 堤防は県が年2回程度草刈をすると聞いています。桜並木は町が消毒と下草の管理を行っています。

問 市街化区域を流れる中山用水は管理不足により、護岸の侵食が進み緑の景観を失いつつありますが、今後の管理方針を伺います。

答 市街地の浸水対策として、下流より整備を進めています。市街地を流れる小河川は、地域住民との協働で親水空間の創造と水量維持、生活空間に潤いをもたらす環境づくりを進めます。



答

問

川島町の歴史的遺産の保全と活用は総合振興計画に沿って取り組みます

佐藤芳男



問 授業時間の確保は

答 24年度、研究、検討していきます

土屋祥吉

問 子どもたちの生活習慣から、将来的に社会的不適応が懸念されるようなことがあるか。

答 子どもたちを取り巻く環境が大きく変わっていく中で、一部の子どもたちが、周囲の人たちと良好な人間関係を築けず、社会的不適応となるケースがあると思われま。

問 子ども会的な活動や中学生のクラブ活動は、人間関係や社会性を身につける訓練の場と思うが現状と取り組みは。

答 今後も各種行事への人的、財政的支援をしていきたいと考えています。中学生の部活動は両校とも、95

問 学習内容の増大により、学力格差の拡大が懸念されますが対応は。

答 小・中学校とも、できる限り授業中に個々の課題に応じた指導ができるようにしています。補充学習も夏休みを中心に、5日から10日間ほど実施しています。

問 新学習指導要領の実施により、教科内容の増大がありますが町の現状と対応は。

答 小学校低学年では週2時間、中・高学年で1時間、中学校では1時間増して対応しています。

現時点では、土曜授業については考えていませんが、まずは補充学習を充実させ、夏休みの短縮については、平成24年度に研究していきたいと考えています。



部活動で心身を鍛える



**議員定数削減に伴う財源を
コミュニティ活動へ
地域コミュニティ
活動推進事業拡充へ**

吉田 豊子

問 昨年議員一同より町長へ、議員定数削減に伴う財源を、地域コミュニティ活動を推進するための補助金に、と要望書を提出しましたが、町の考えは。

答 地域コミュニティ活動推進事業の拡充を措置しました。地域への一括補助ではなく、各地域の特色を活かしてもらえる様な支援策を講じて予算配分しています。活動は、川島町コミュニティ推進協議会が中心となり、平成23年度の助成団体は30団

体です。更なる活性化、かつ継続して実施できるよう支援させていただきま

問 昨年町は、男女共同参画推進計画を作成し、目標を平成27年に30%、32年には40%としていますが、前計画目標の20%を達成できませんでした。まず行政から行政委員会、審議会等への公募制を取り入れ、女性の登用を積極的格差是正措置の具体化割当制優遇施策を取り、女性の登用を図るべきと考えますが。

答 公募制を取り入れ、女性枠の設定を行うなど、女性委員の割合が高まるような取り組みを推進してまいります。

問 県と多くの市では、男女共同参画推進条例を制定していますが町の考えは。

答 今後検討いたします。
問 町内には豊富な知識や経験をお持ちの方々がいらっしゃいますので、人材バンクの開設は。

答 町全体で今後検討いたします。



川島町男女共同参画推進計画

問 町民ニーズの公共交通の利便性について、アンケート結果をどのように考えているか伺います。

答 非常に重く受け止めており、町では、職員を中心に地域公共交通対策プロジェクトチームを立ち上げ、民間バス路線やぐるっと川島を含めた総合的な町内の公共交通の見直しを図るための事業に着手しました。

問 24年度には、町民の方々やバス利用者のご意見を把握するため、埼玉大学と共同研究により現状の分析など、詳細な調査を実施していく予定です。路線バス停留所の整備計画は。

答 24年度に、東武バスウエスト(株)

問 総合交通ターミナル等の設置計画は

答 乗継ぎなど利便性の向上を考えプロジェクトチームで検討

あき 昭 敏 地 ち 菊

と協力しながら、主要なバス停に上屋を設備できるよう協議をすすめます。又、駐輪場も含め検討させていただきます。設置に必要な土地の確保など地元のご理解ご協力をお願いしたいと思います。

問 圏央道を利用した広域交通について、近い将来をみて高速バスのターミナルの誘致や計画、路線バスと高速バス、ぐるっと川島巡回バス、タクシーを含む総合交通ターミナルの設置等の考えは。

答 圏央道を利用した目的地直行バスを検討しており、有利な立地条件を活かした総合的なバスターミナルを設置し、公共交通等の機能を集約することも地域の方々の乗継ぎなど利便性の向上につながるかと考え、あわせて研究していくため、プロジェクトチームを立ち上げました。



現在の公共バス路線図



川島町防災倉庫（平沼地内）

問 町の地域防災計画の見直しの進捗状況は。

答 埼玉県地域防災計画の改修版を念頭に修正しています。特に帰宅困難者対策については、震災の影響で保護者が児童等をなかなか引き取りに来られなかったという事態が生じたことから、教育委員会では学校から保護者へ情報発信ができるメールシステム等を整備したところです。地域特性として風水害対策についても十分な検討が必要であることか

問 町に備えた備蓄品状況は。

答 町の地域防災計画における食糧の備蓄は3800人分という想定になっていきます。また、停電など不慮なことも考えられますので、町制施行40周年にあわせ、川島町の水ペットボトル化事業も計画していることから、それも飲料水の備蓄にまわせればと考えています。要援護者に対する見直しを県がすすめていることから、パンの缶詰や、おかゆを購入する予定です。女性についての配慮が足りないこともあったことから、つい立てや、洗面所の関係を含め、十分な配慮を考えてまいります。なお、備蓄品として女性用下着や生理用品等を相当量購入することも考えております。



答

問

町の地域防災計画の現状は
県の計画にあわせて
進めていきます

森田敏男

中学生との座談会



川島町議会は初めての取組みとして3月27日、町内中学生10名（川島中・西中5名ずつ）と川島町議会議員全員による座談会を開催しました。中学生の意見をお聞きし、現在、未来の川島町の姿を討論いたしました。

「川島町議会だより」に対する感想や、ご意見・ご要望がありましたら議会事務局までご連絡ください。

TEL: 299-1759 (直通)

議会日誌

2月

22日 議会運営委員会
議会全員協議会

3月

1~14日 3月定例会
5日 議会全員協議会
13日 議会報編集委員会
14日 議会全員協議会
15日 川島中・西中卒業式
22日 各小学校卒業式
27日 中学生との座談会
議会全員協議会

4月

7日 川島町グラウンドゴルフ大会
9日 川島中・西中入学式
各小学校入学式

23日 議会報編集委員会
24日 議会運営委員会
議会全員協議会
26日 町内企業視察研修
27日 4月臨時会

5月

9日 議会報編集委員会

比企広域市町村圏組合議会

小高 春雄
佐藤 芳男

定例会は2月21日に開かれました。主な議案を報告します。欠員の副議長に松本修三議員、総務常任委員長に長島邦夫議員、公平委員に浅見道雄氏を選任いたしました。

平成23年度補正予算では、一般会計は総額に変更なく、項目間の補正です。介護認定及び障害程度区分審査会特別会計は総額8836万9千円となりました。平成24年度予算では、一般会計は昨年度に比べ1650万円減の総額8500万円に、斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計予算は、総額1億1400万円に決定しました。介護認定及び障害程度区分審査会特別会計予算は総額8200万円に決定しました。(佐藤)

川越地区消防組合議会

森田 敏男
道祖士 順二
爲水 順二

平成23年度第4回臨時会は、12月20日に開催され、平成23年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第1号)について審議しました。2284万6千円を追加し、予算総額が47億4962万6千円となりました。歳出の主なものには東日本大震災による消防団員等の公務災害補償の掛け金の増額で、川越非常備消防費及び川越水防費の共済費の追加との答弁があり、採決の結果、原案通り可決決定されました。(道祖士)

6月の定例会
6月6日(水)
開催予定です。

表紙解説

朝から晴天に恵まれ、満開に近い桜の見守る中、4月9日、川島中学校の入学式が行われました。写真は、校長先生による「呼称」の様子です。配布された名簿に目を通すと、漢字のクイズの様に難解な名前が多く、何と読むか分からない名前も多い。命名にあたってのご両親の思いの深さを感じられました。

新入生は104人。4年ぶりに百名を越したとのことでした。緊張の中にも、新しい世界への夢あふれる様子が、整列した新一年生の表情から窺えました。人生の春本番を迎える子供たちを、少しだけ羨ましく感じました。(飯野)

編集後記

例年よりも遅い桜が咲き、川島町の周囲は、新緑と田園風景が見事に整った季節となりました。3月定例会の「議会だより」をお届けします。

町の年間予算を決める議会で、慎重な審議がなされました。

3月には「中学生と町議員との座談会」を行いました。率直できたんのない意見が交わされました。

議会としても、中学生からの声を今後の活動に生かす所存です。

開かれた議会、親しみやすい議会になりますように、議会改革を進めてまいります。(栗岩)

議会だより編集委員会

委員長	石川 征郎
副委員長	佐藤 芳男
委員	菊地 敏昭
委員	飯野 徹也
委員	栗岩 輝也
委員	新井 悦治
委員	小高 春雄
相談役	小高 春雄

お問い合わせ 議会事務局
TEL 049-299-1759 (直通) / FAX 049-297-9346
E-mail: gikai@town.kawajima.saitama.jp